

# ニセコひらふ地区の再整備計画と振興の今後は

町長 これまで積み上げてきた計画をベースに再検討していく



田中 義人 議員

## 町長

①交付金活用における倶知安町の信用をかなり低下させ継続は難しいが、実施できなかつた各事業の必要性は認識している。

②住居表示は一昨年に質問されてから検討してきた。2年程度の期間と2000万円の経費、人員が3名程度かかる見込みを検討していく。

③本町の条例改正を視野に、制度の周知を図り進めていきたい。

## 高速道路、新幹線が来る事による市街地の整備計画について

## 田中

①平成30年度、新駅周辺策定等業務委託によって、来年度には青写真を示せると捉えてよい。

②広域交通ネットワーク整備は周辺町村と広域連

携で進める計画になっている。進捗は。

③新駅整備の本町の負担額は5億円程度。駅周辺整備の見込み費用は。

④街並みと併せ、エネルギー政策などの社会インフラ構築を行なうべき。

## 町長

①平成31年度には基本構想を示せるよう取り組む。

②今のところ具体的な連携は行っていないが、北海道新幹線後志開業効果活用検討会議が道主体で立ち上がった。

③基本構想後の基本計画に向けての協議段階で検討したい。

④地域再生可能エネルギー導入ビジョンで木質バイオ、RDF利用を検討中。

## 住宅宿泊事業法(民泊法)の条例について

民泊法が6月

## 田中

から施行される。本町は特に慎重に対応しなければならぬ。急増し、空きが出てきた新築アパートが施行前から空室を違法で民泊を行っている物件も散見でき

る。町独自で規制を強化すべき。

## 町長

規制強化で違反民泊が増える。これを契機に適正運用されるべき。大阪(の違法民泊施設で)で起きた殺人事件は、マッチングアプリで出会った男女

によるもの。適正運用されれば、一定の犯罪抑止力は働くと考える。

一般質問 田中義人



冬場のニセコひらふ風景